

1 学年 社会科 ガイダンスシラバス

担当：竹内 賢斗

1. 社会科を学ぶねらい

日常生活の「なぜ」を大切に、社会のことを学んでいきます。現代社会は、グローバル化・情報化がさらに加速し、変化の激しい社会となっています。このような社会において、社会とどのように関わるか、よりよい人生を送ることができるかを考える必要があります。また、日本や世界の歴史、文化を尊重し、多様性、人権について学ぶことが大切です。

社会的事象に対して、見方・考え方を働かせ、課題を解決する学習を通して、主体的によりよい社会を形成していく力を身に付けていきます。

2. 学習方法

- ・小学校で学習した内容を復習する。
- ・予習は、次の授業で学習する教科書のページを読み、大まかな流れを理解する。
- ・授業中は「なぜ」「どうして」を大切に自分で考えたり、説明を聞いたりして、「分かった」と思えることを増やしましょう。
- ・授業中は、質問に対して積極的に考え、積極的に発表しましょう。
- ・復習は、授業のノートや振り返りシート、ワーク等を活用しましょう。
- ・ワークを進める時は、自分の力で解いてみて、間違えたものをくり返し練習したり、先生に質問したりしましょう。

3. 持ち物について

地理 ・教科書 ・ファイル(地理用) ・資料集 ・地図帳 ・タブレット
歴史 ・教科書 ・ファイル(歴史用) ・資料集 ・タブレット

4. 学習の評価と方法

①知識・技能

- ・各分野の基礎的な内容を理解しているか
- ・様々な知識を、整理して理解しているか
- ・統計資料、グラフ、図表等を読み取る力があるか
- ・書籍やインターネットを活用して、課題の解決策を調べることができるか

評価方法

- ・定期テスト ・小テスト ・振り返りシート ・レポート等の提出物
- ・授業内発言など

②思考・判断・表現

- ・社会的な事象に対して多面的、多角的に考察し、それをまとめることができるか
- ・課題に対して社会的な見方、考え方を働かせて追究しているか
- ・課題の解決に向けて思考・判断し、それらをまとめたり、説明したりできるか

評価方法

- ・定期テスト ・小テスト ・振り返りシート ・レポート等の提出物
- ・授業内の話し合いの様子など

③主体的に学習に取り組む態度

- ・しっかりと説明を聞き、ノートやワークシートにまとめようとしているか
- ・提出物(授業で出された課題など)を期限内に提出しているか
- ・社会の出来事に関心をもち、追究しようとしているか

評価方法

- ・定期テスト ・ノート、ワークシート、振り返りシート等の提出物点検
- ・授業や話し合いへの参画度など

5. 学習の評価と方法

「知識・技能」

- ・小テストはテストによって満点が違う場合でも、得点率を参考にするため、10点満点のテストも30点満点のテストも同じ重さとなる。
長期休業明けに前学期の振り返りテストを行う。
- ・振り返りシートでは授業内で指示した語句の意味を理解し、知識として身につけているのかを確認する。
- ・授業内での質問に対して、正しい語句を発言できている場合加点する。
※授業内の発言で誤った語句を解答しても減点を行わない。

「思考力・判断力・表現力」

- ・小テストの中では記述問題や正誤判定問題、資料読み取り問題がこの観点に該当する。テストによって満点が違う場合でも、得点率を参考にするため、10点満点のテストも30点満点のテストも同じ重さとなる。
- ・振り返りシートでは、授業の要点を理解し、自分なりの言葉でまとめられているかを確認する。
- ・ファイル提出において、記述問題の解答の内容で評価する。評価は資料や前後の事象を踏まえたうえで、自分なりの考えを書けているかに着目する。
- ・授業内の話し合い活動で資料や授業の内容を踏まえて自分なりの考えを話し合えているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」

- ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。
- ・思考力、判断力、表現力の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。
- ・授業に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。
- ・提出物は提出しており、かつ課題を十分に達成している場合 A 評価、提出物を提出している場合 B 評価、提出していない場合 C 評価となる。なお、提出物の提出が1日遅れるごとに減点する。
※提出物の提出が遅れる旨を前もって伝達している場合、考慮する。

6 年間学習計画

地理的分野

学期	月	単元名 学習の内容	学習の目標	評価方法
1	4 5	第1章 歴史へのとびら 第2章 古代までの日本 1節 世界の古代文明と宗教の起こり 2節 日本列島の誕生と大陸との交流 3節 古代国家の歩みと東アジア世界	- 年代の表し方や時代区分の意味や意義について理解する。 - 時代の流れや特色の見方、考え方について理解する。 - 人類の誕生から平安時代までの歴史の流れ、特徴を、政治や文化の面から理解し、その特色をまとめる。	授業態度 定期テスト 提出物 単元シート その他課題 など
	6 7	第1部 世界と日本の地域構成 1章 世界の姿 2章 日本の姿 第2部 世界の様々な地域 1章 人々の生活と環境	- 世界の地域構成（緯度や経度、大陸と海洋の分布など）を理解するとともに、日本の地域構成（国土の位置、時差、領域）を理解する。 - 世界の諸地域の多様性や地域的特色を理解する。（衣食住・生活と宗教の関わり） - 各州の地域的な課題の要因や影響を考察し、表現する。	
2	9 10	第3章 中世までの日本 1節 武士の政権の成立 2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	鎌倉時代から室町時代までの歴史の流れ、特徴を政治、文化の面から理解し、その特色をまとめる。	
	11 12	2章 世界の諸地域 1節 アジア州 2節 ヨーロッパ州	- 世界の諸地域の多様性や地域的特色を理解する。（衣食住・生活と宗教の関わり） - 各州の地域的な課題の要因や影響を考察し、表現する。	
3	1 2 3	3節 アフリカ州 4節 北アメリカ州 5節 南アメリカ州 6節 オセアニア州		

※生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合があります。